

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9006 URL <https://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 川俣 幸宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室部長 (氏名) 森 利明 (TEL) 045-225-9390
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け/Web会議のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	200,537	7.7	23,352	147.0	22,764	133.4	15,401	△1.8
2023年3月期第3四半期	186,199	8.5	9,452	—	9,754	—	15,677	67.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 20,829百万円 (18.6%) 2023年3月期第3四半期 17,559百万円 (274.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	55.95	—
2023年3月期第3四半期	56.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	955,316	290,710	30.1
2023年3月期	935,420	273,452	29.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 288,023百万円 2023年3月期 271,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2024年3月期	—	7.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,500	11.7	28,000	158.8	27,300	123.2	22,000	39.1	79.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	275,760,547株	2023年3月期	275,760,547株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	470,964株	2023年3月期	479,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	275,285,562株	2023年3月期3Q	275,279,635株

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は、以下のとおりです。
2024年3月期第3四半期 88,700株 2023年3月期 98,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)におけるわが国経済は、雇用および所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの事業は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行し、行動制限が解除されたことから、交通事業およびレジャー・サービス事業を中心に、回復傾向が続きました。

以上の結果、営業収益は2,005億3千7百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は233億5千2百万円(前年同期比147.0%増)、経常利益は227億6千4百万円(前年同期比133.4%増)となりました。これに、前年同期に特別利益としてバスの営業所等の売却に伴う固定資産売却益を計上した反動などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は154億1百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業およびバス事業では、移動需要の回復に伴い輸送人員が増加したほか、羽田空港輸送が好調に推移しました。また、10月に鉄道旅客運賃の改定を実施したほか、川崎鶴見臨港バス(株)が前期に、京浜急行バス(株)が9月に一般路線で運賃改定を実施したことにより、増収となりました。

以上の結果、営業収益は817億9千1百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は102億7千5百万円(前年同期比664.7%増)となりました。

不動産事業

不動産販売業では、分譲マンションの売上が減少したものの、賃貸マンションを売却したことなどにより、増収となりました。

不動産賃貸業では、投資した不動産ファンドからの配当収入および賃貸オフィスビルの賃料収入が増加したことなどにより、増収となりました。

以上の結果、営業収益は368億9千8百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は68億6千万円(前年同期比36.8%増)となりました。

レジャー・サービス事業

ビジネスホテル業では、京急EXホテル・京急EXインは、国内宿泊需要およびインバウンド需要の回復により、稼働率および客室単価が上昇し、増収となりました。

レジャー関連施設業では、京急開発(株)において温浴施設の収入が増加したものの、前期に観音崎京急ホテルが営業終了したことなどにより、減収となりました。

以上の結果、営業収益は221億4千2百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は38億1千6百万円(前年同期比142.8%増)となりました。

流通事業

百貨店業では、リニューアルに伴い休業区画が発生したことなどにより、減収となりました。

スーパーマーケット業では、既存店の売上が好調に推移したことなどにより、増収となりました。

コンビニエンスストア・物品販売業では、来店客数の増加および商品単価の上昇などにより、増収となりました。

以上の結果、営業収益は548億7千5百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は18億4千万円(前年同期比96.8%増)となりました。

その他

その他の事業は、完成工事が増加したことなどにより、増収となりました。

以上の結果、営業収益は258億9千6百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は4億9千9百万円(前年同期比73.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物の減少はありますが、建設仮勘定の増加などにより、前連結会計年度末と比べ198億9千6百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少はありますが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ26億3千7百万円増加しました。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末と比べ172億5千8百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想について、第3四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、不動産分譲地の売却時期のずれなどにより、前回予想(2023年11月10日公表)を以下のとおり修正しています。

業績予想の詳細は、別途本日公表の「2024年3月期第3四半期 決算補足説明資料」をご覧ください。

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 303,700	百万円 28,000	百万円 27,300	百万円 22,000	円 銭 79.92
今回修正予想(B)	282,500	28,000	27,300	22,000	79.92
増減額(B-A)	△21,200	0	0	0	
増減率(%)	△7.0	0	0	0	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	253,005	10,819	12,233	15,817	57.46

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,119	65,059
受取手形、売掛金及び契約資産	14,181	13,759
商品及び製品	2,008	2,347
分譲土地建物	54,802	55,966
仕掛品	896	2,063
原材料及び貯蔵品	312	320
その他	5,535	5,989
貸倒引当金	△128	△17
流動資産合計	134,727	145,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	313,521	303,268
機械装置及び運搬具（純額）	35,069	34,471
土地	175,259	173,873
建設仮勘定	114,416	127,356
その他（純額）	6,519	5,644
有形固定資産合計	644,786	644,614
無形固定資産	8,300	8,345
投資その他の資産		
投資有価証券	84,591	95,215
長期貸付金	714	678
繰延税金資産	6,525	6,269
退職給付に係る資産	35,086	34,491
その他	20,842	20,366
貸倒引当金	△155	△154
投資その他の資産合計	147,605	156,867
固定資産合計	800,692	809,826
資産合計	935,420	955,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,560	14,521
短期借入金	122,733	131,222
1年内償還予定の社債	30,000	-
未払法人税等	3,765	3,023
前受金	6,832	13,404
賞与引当金	1,584	735
役員賞与引当金	68	-
その他の引当金	105	15
その他	30,126	31,628
流動負債合計	222,775	194,551
固定負債		
社債	105,000	125,000
長期借入金	229,717	230,331
繰延税金負債	5,011	7,462
役員退職慰労引当金	284	257
退職給付に係る負債	11,341	11,579
長期前受工事負担金	69,294	76,682
解体費用引当金	4,109	4,109
その他	14,434	14,631
固定負債合計	439,192	470,054
負債合計	661,968	664,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	165,164	176,985
自己株式	△821	△808
株主資本合計	252,240	264,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,758	12,922
為替換算調整勘定	385	780
退職給付に係る調整累計額	10,701	10,245
その他の包括利益累計額合計	18,845	23,948
非支配株主持分	2,366	2,687
純資産合計	273,452	290,710
負債純資産合計	935,420	955,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	186,199	200,537
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	148,208	148,400
販売費及び一般管理費	28,537	28,784
営業費合計	176,746	177,185
営業利益	9,452	23,352
営業外収益		
受取利息	47	92
受取配当金	468	413
持分法による投資利益	439	443
投資有価証券売却益	1,668	772
助成金収入	112	307
その他	669	575
営業外収益合計	3,404	2,605
営業外費用		
支払利息	2,756	2,792
その他	345	401
営業外費用合計	3,102	3,194
経常利益	9,754	22,764
特別利益		
受取補償金	-	107
固定資産売却益	13,103	63
工事負担金等受入額	1,154	51
その他	1	1
特別利益合計	14,258	224
特別損失		
減損損失	-	491
固定資産除却損	488	406
固定資産圧縮損	1,154	51
その他	332	54
特別損失合計	1,975	1,004
税金等調整前四半期純利益	22,037	21,983
法人税、住民税及び事業税	4,248	5,891
法人税等調整額	2,066	629
法人税等合計	6,314	6,520
四半期純利益	15,723	15,462
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,677	15,401

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	15,723	15,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	958	5,163
為替換算調整勘定	763	658
退職給付に係る調整額	115	△455
その他の包括利益合計	1,836	5,366
四半期包括利益	17,559	20,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,208	20,505
非支配株主に係る四半期包括利益	351	324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	72,487	31,110	17,888	52,289	12,422	186,199	—	186,199
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,228	4,771	2,393	940	13,274	22,608	△22,608	—
計	73,715	35,882	20,281	53,230	25,697	208,807	△22,608	186,199
セグメント利益	1,343	5,013	1,571	934	287	9,151	301	9,452

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	80,827	32,275	19,925	53,962	13,547	200,537	—	200,537
セグメント間の内部営業収益又は振替高	964	4,623	2,216	912	12,349	21,067	△21,067	—
計	81,791	36,898	22,142	54,875	25,896	221,604	△21,067	200,537
セグメント利益	10,275	6,860	3,816	1,840	499	23,293	59	23,352

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。